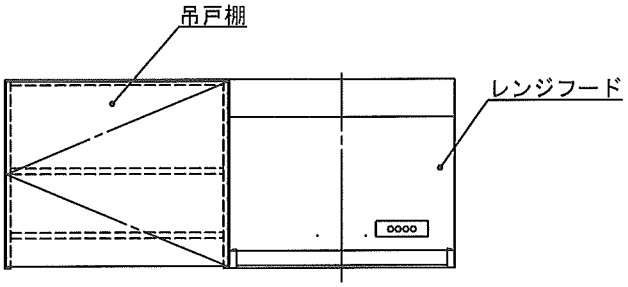
取付設置説明書

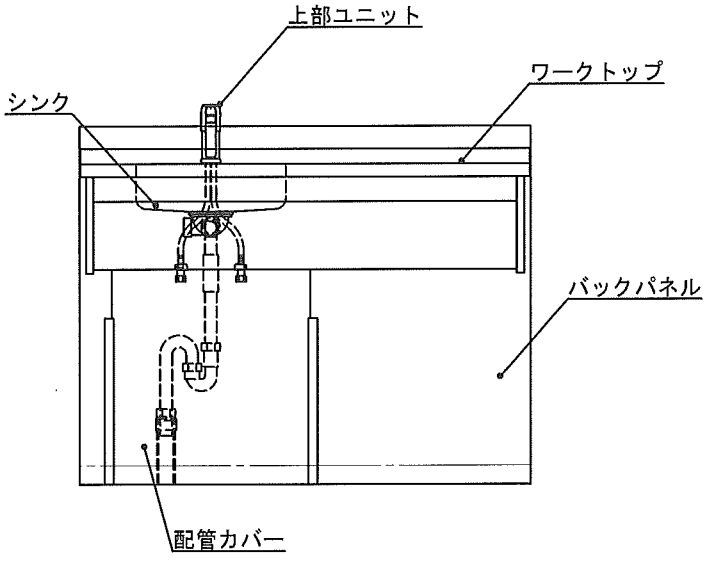
カウンター　キッチン

取付設置をされる方へのお願い

- このカウンターキッチンを正しく安全にご使いいただくため、この取付設置説明書をよくお読みになってから指定された作業を行ってください。
- 給排水工事・電気工事は、関連する法令・規則にしたがって、必ず「有資格者」が行ってください。
- この取付設置説明書に記載されていない方法で設置され、それが原因で故障等が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- キッチン及び、組込機器等の取扱説明書・保証書は、とりまとめて保管し、お引渡しの際、お客様にお渡しください。

各部の名称





安全に関するご注意

- ここに示した注意事項は、商品を正しく安全に設置・取付していただき、取付作業者及び商品を使用されるお客様や他の人々への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。
- 誤った作業により生じる危害、損害の程度により次の二つに区分しています。

⚠ 警　告	作業を誤った場合に設置作業者又は、設置後の商品の不具合によって、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注　意	作業を誤った場合に設置作業者又は、設置後の商品の不具合によって、人が障害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置終了後、点検表にしたがって試運転及び各部の点検を行い、異常のないことを確めてください。

絵表示の意味について

禁止の行為であることを告げるものです。

行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

⚠ 警　告

- 電気工事、水道工事は関連する法令、規則にしたがって、必ず『有資格者』が行ってください。

  接続や、固定が不十分な場合は、発煙や火災、水漏れの原因になります。

⚠ 注　意

- 商品の改造や仕様変更は行わないでください。

  事故の原因となるおそれがあります。

- 運搬中に製品をぶつけないでください。又、運搬は二人以上で行ってください。

  製品を周辺設備にぶつけると製品及び周辺設備が破損したり、傷が付き使用できなくなります。

- 設置終了後に扉の傾き、ガタつき、ヒンジのゆるみがないことを確認してください。

  使用中に扉が落下して、ケガをするおそれがあります。

- キッチンに組み込まれる電気製品、その他機器については、それぞれの製品の取付設置説明書や本体の注意表示をご覧いただき、正しい設置を行ってください。

  据付け方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。

- 設置時に使用される溶剤、接着剤、洗剤、その他薬品類については、容器等に記載の注意表示 にしたがい正しくお使いください。

  誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、キッチンの損傷や劣化の原因になります。

- 設置後に梱包材を使用し、ワークトップに覆いをして、保護してください。

  物が落下して、ワークトップに傷が付く場合があります。

- 製品に乗ったり脚立などを立てないでください。

  キッチンが変形したり、落下してケガをするおそれがあります。

⚠ 注　意

● キッチンは水平で平滑な場所に設置して、壁面及び床にしっかりと固定してください。
　キッチンが転倒して、ケガをするおそれがあります。

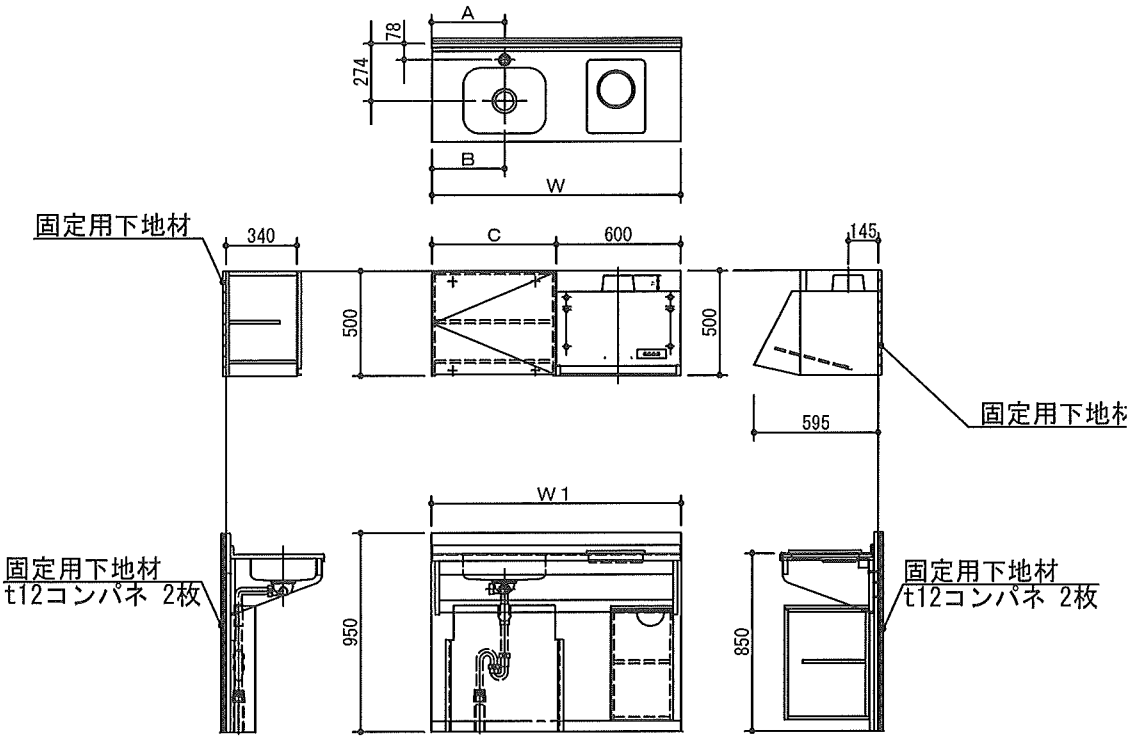
商品寸法　（単位：mm）

本図は左シンクです。右シンクは左右反対になります。

完成図面

タイプ別寸法表

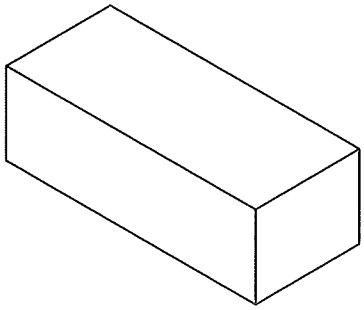
W寸法	W1寸法	A寸法	B寸法	C寸法
900	905	272．5	270	300
1200	1205	352．5	350	600



梱包リスト

下記部品で構成されていますので数量をお確かめください。

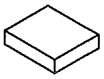
ワークトップ

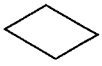


共通部品

ワークトップ

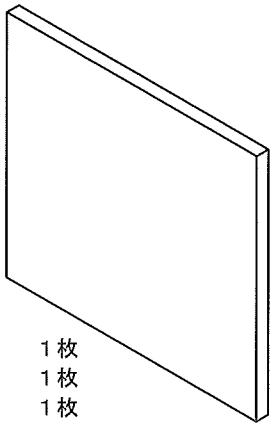
水栓箱 ── 混合水栓　１個



説明書セット ┬ キッチン取扱説明書　１冊

├ キッチン取付設置説明書　１冊
└ 床固定ビスセット
　├ 小ねじＭ５Ｘ４５　３本
　└ 皿ビスφ３．８Ｘ５７　６本
　－ ビスキャップ　３個
　－ ビスキャップ座　３個

排水管セット ── Ｓ字管セット　１セット

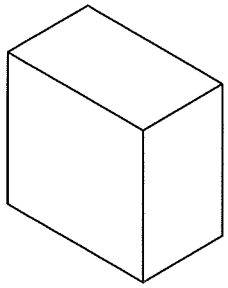
バックパネル



同梱部品

バックパネル　１枚
配管カバー上　１枚
配管カバー下　１枚

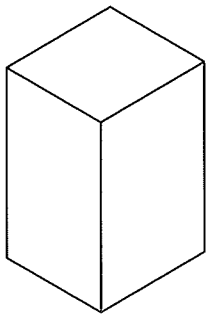
吊戸棚（オプション）



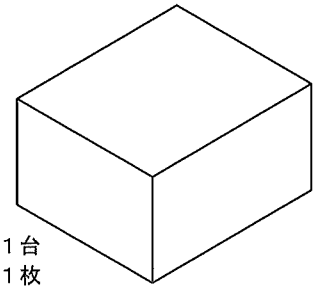
同梱部品

吊戸棚　１台
棚板　１枚

ワゴン（オプション）



レンジフード（オプション）



同梱部品

フード本体　１台
前幕板　１枚

設置に際して、下記の工具をご用意ください。

設置用工具

電動ドライバー・モンキースパナー・脚立・メジャー・カッターナイフ・ローラー（又は、ハンマー＋当て木）・ドリル・プラスドライバー・マイナスドライバー・水平器

1　設置前の確認

1）設置前の確認

・必要部材が揃っていますか？

・設置場所の直角・水平レベルを確認してください。

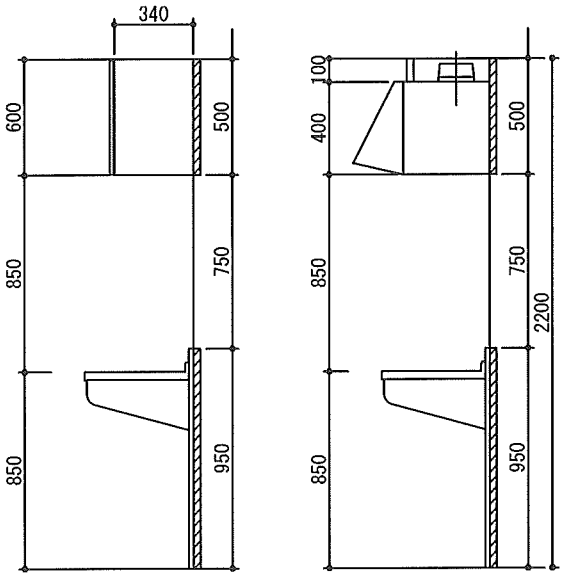
⚠ 警　告

● 壁面の下地材が強固に固定されていることを確認してください。
下地材は腐りのないものを使用してください。

固定桟の取り付けが不完全な場合、ウォールキャビネットやレンジフード・カウンターが落下して怪我をするおそれがあります。

2）壁面固定桟の位置の確認

ウォール高さ５００の場合　　渡辺製深型フードの場合



※　キッチン固定用の下地材はｔ１２㎜のコンパネ２枚を強固に固定してある事を確認してください

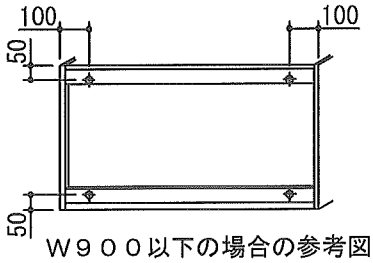
上記寸法はＨ＝２２００の場合の寸法割りです。

ウォールキャビネットの取り付け高さが異なる場合はその寸法になるように変更してください。

2　ウォールキャビネットの設置（オプション仕様）

1）設置前の準備

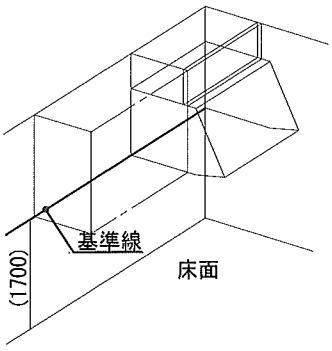
・後板に固定用穴（φ４）を開ける。
　建築の下地材の位置を確認して、下地材のある位置に下穴の位置を決めてください。



Ｗ９００以下の場合の参考図

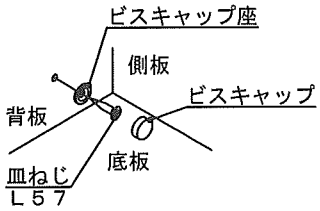
2）レンジフード・ウォールキャビの取付

・壁面に基準線を水平に引く。
　壁面に右下の図を参考に基準線を水平に引く。
　基準線の位置は床面の一番高い面より出してください。



・レンジフード側に横壁がある場合は、レンジフードの設置工事説明書に従い横壁と隙間がないように固定してください。
　ウォールキャビ側に横壁がある場合、レンジフードはウォールキャビを取り付け後に隙間がないように取り付ける。

・ウォールキャビをレンジフードと隙間がないように皿ねじＬ５７にビスキャップ座を通し取り付けて、ビスキャップをはめる。



注意　不燃面がレンジフードに接するように取り付ける。

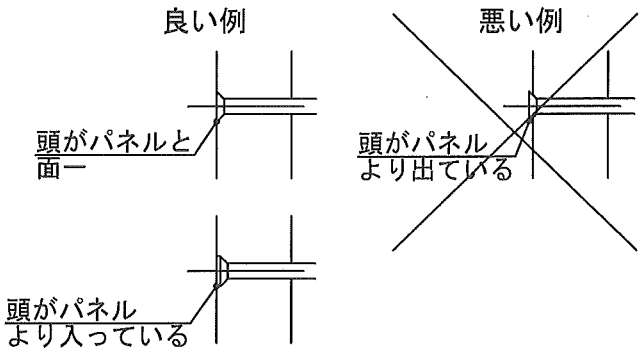
⚠ 警　告

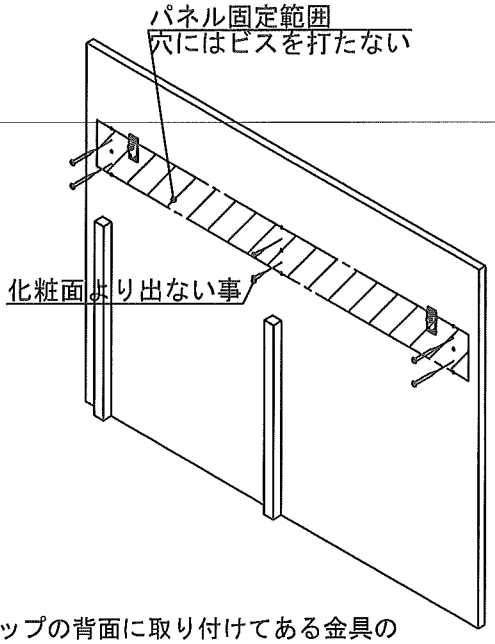
● 固定ねじの固定桟への入り込みが１５㎜以上であることを必ず確認する。
　壁面への固定が不完全な場合、使用中に吊戸棚が落下して怪我をするおそれがあります。
・条件を満たさない場合は、ねじを現場で調達してください。

3　キッチンの設置

3）バックパネルの固定

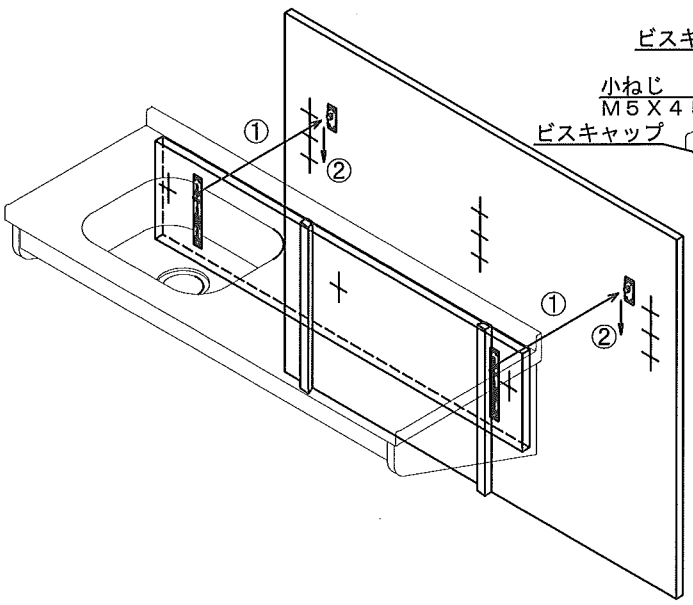
・バックパネルを壁にＬ５７のビスで固定する。
（ビスの頭がバックパネルより出ていない事）
建築の下地材が有ることを確認してください。

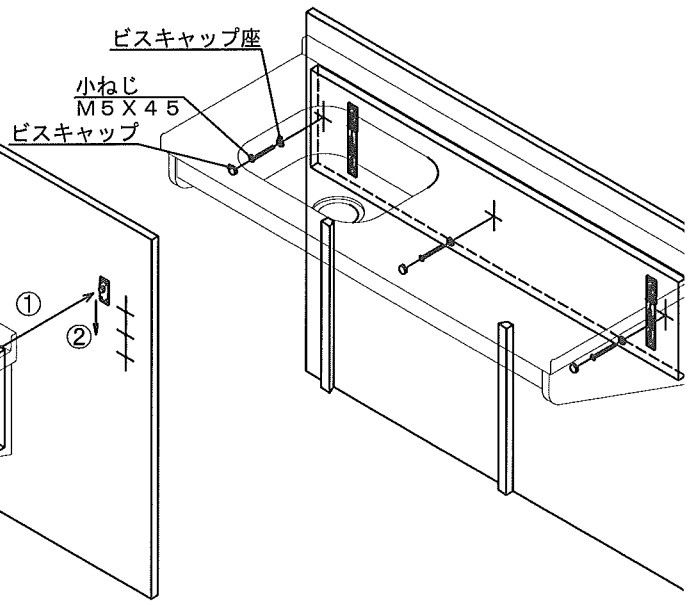




4）ワークトップの取付

・バックパネルに取り付けてある金具の穴に、ワークトップの背面に取り付けてある金具の突起部を差し込み、下に一杯下げる。
（取付が不十分だと小ねじで固定できなくかります。）
ワークトップの位置は８５０㎜・７９０㎜・７３０㎜になるように設定してあります。
・小ねじにビスキャップ座を通し、ワークトップをバックパネルに固定してください。
・固定後ビスキャップをはめる。





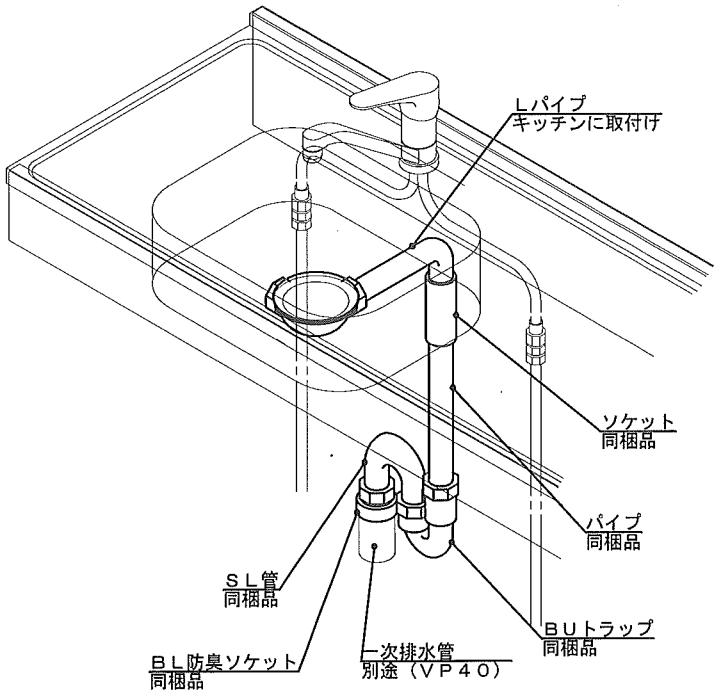
5　給排水の接続

標準配管

- 下図のように排水管を接続して下さい。
- 接続部は接着剤又は、ナットで水漏れが発生しないように接続して下さい。

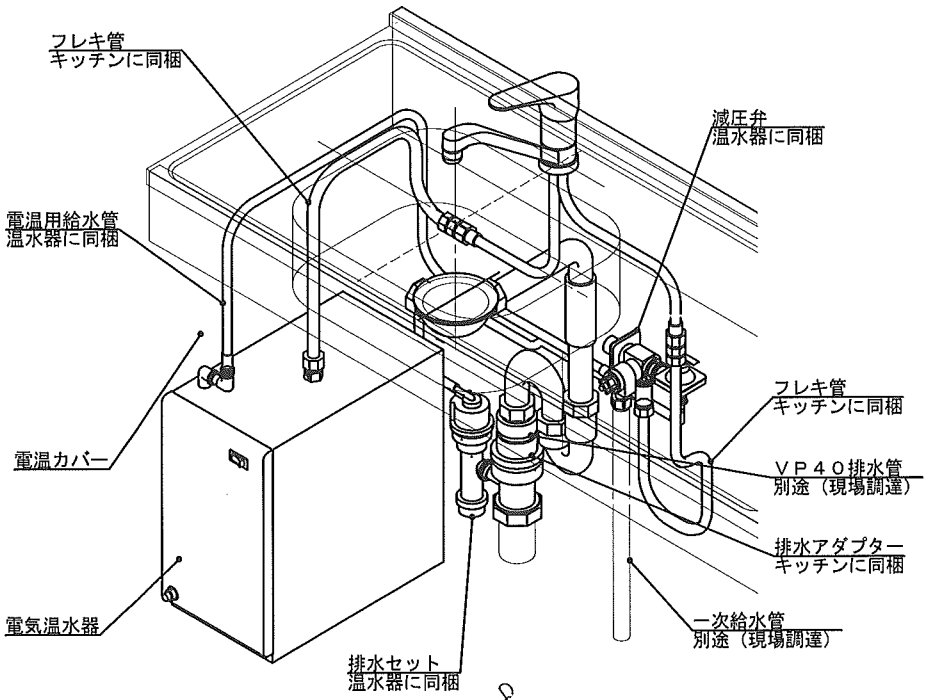
※正しく接続しないと、水漏れの原因となります。

※Ｓ字部は床に近い位置にしないと、排水能力が悪くなります。



電温仕様用配管（オプション仕様）

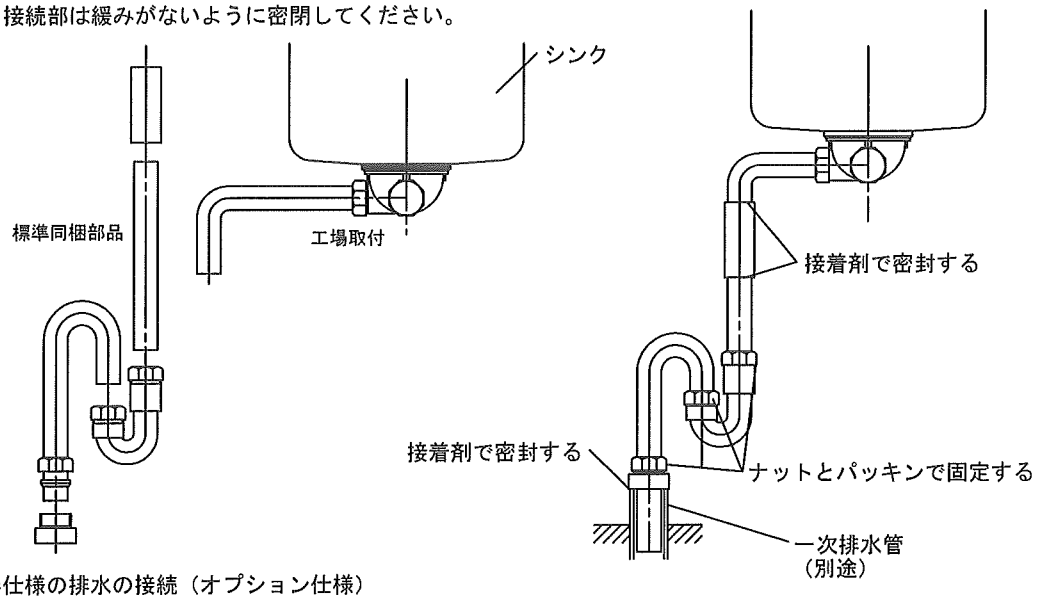
- 下図のように排水管を接続して下さい。



● 標準仕様の排水の接続

・下図のように接続して下さい。

※　接続部は緩みがないように密閉してください。

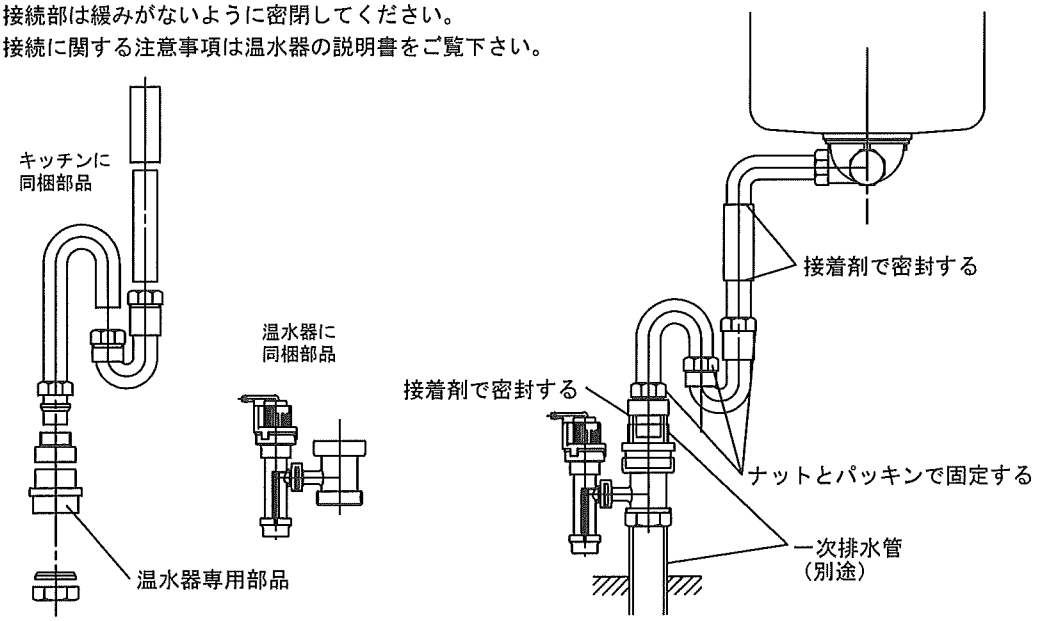


● 温水器仕様の排水の接続（オプション仕様）

・下図のように接続して下さい。

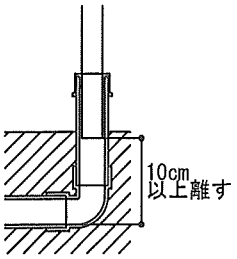
※　接続部は緩みがないように密閉してください。

※　接続に関する注意事項は温水器の説明書をご覧下さい。



⚠ 注　意

● ＳＬ管は一次排水管の底に当てないでください。
排水能力が低下して、シンクから水があふれ、周囲を汚損するおそれがあります。ＳＬ管を適切な長さに切断してください。

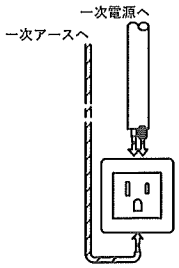


6　電気の接続

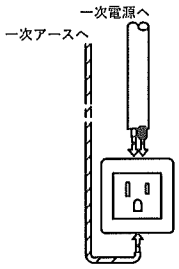
⚠ 警　告

● 電気工事は関連する法令・規則にしたがって、必ず『有資格者』が行なってください。
・　接続や固定が不完全な場合は火災の原因になるおそれがあります。

① ヒーター付きの場合
ヒーター用コンセントに一次電源コードを接続してください。



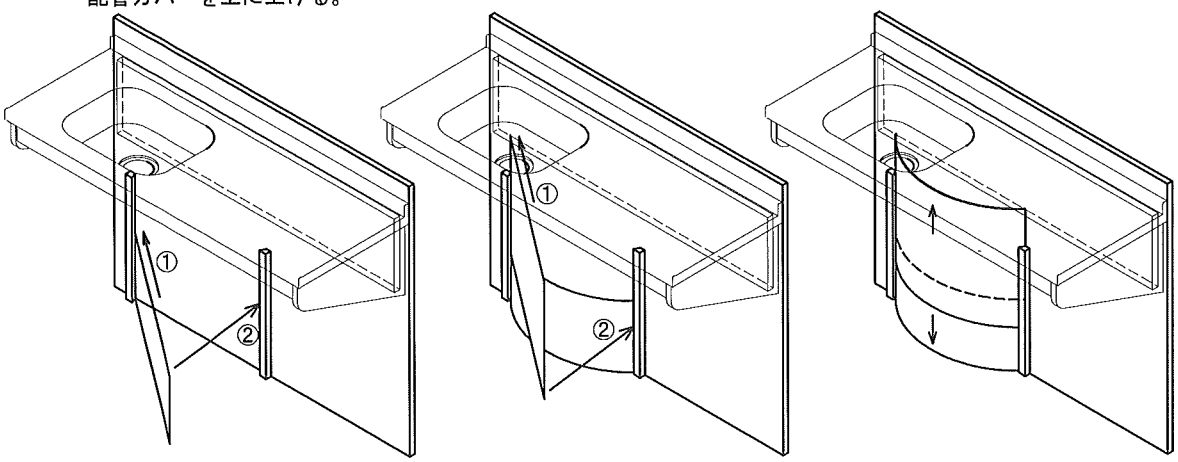
② 電気温水器設置の場合
電気温水器用コンセントに一次電源コードを接続してください。



7　配管カバーの取付

1．配管カバー下（小さいもの）をバックパネルの受けに①　②の順にはめる。
配管カバーを下に下げる。

2．配管カバー上をはめる。
配管カバーを上に上げる。



8　ビルトイン機器の取付け

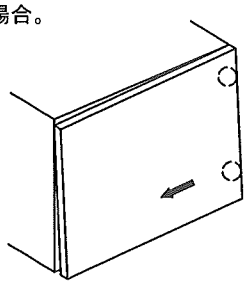
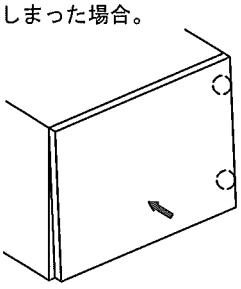
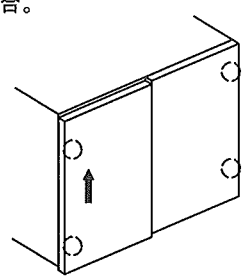
● ビルトイン機器がある場合は、機器に添付されている取付設置説明書に従い、正しく設置してください。

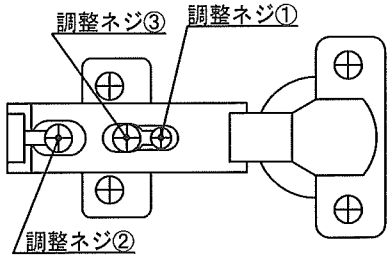
9　清掃・チェック

● 給水栓を開いて水を出し、配管部（排水トラップ・排水管）に水漏れがないか確認してください。
※　給水・給湯の配管内に砂やゴミなどがたまっている場合がよくあります。
水栓の弁にゴミがはさまり、水栓に水漏れがおきないように吐水口の整流器を外し、全開放水してゴミなどを洗い流してください。

● 扉やキャビネットなどに汚れがついている時は、柔らかい布かスポンジに中性洗剤を含ませて拭き取ってください。
※　シンナー・ベンジンなどは商品をいためますから、使用しないでください。

● 扉間の段差や隙間の不揃いがある時は、下図のようにヒンジを調整してください。

扉の傾き調整	扉のうき（隙間）調整	扉の段差調整
図の様に扉が左下に傾いてしまった場合。	図の様に扉と本体の隙間が上下で異なってしまった場合。	図の様に左の扉が下がってしまった場合。
		
下側丁番の調整ネジ①を回して扉が矢印の方向に寄る様に調整してください。 調整後、必ず調整ネジ②を締付けて丁番を固定してください。	下側丁番の調整ネジ②をゆるめ下の丁番を奥にスライドさせて隙間を合わせてください。 調整後、必ず調整ネジ②を締付けて丁番を固定してください。	上下の丁番の調整ネジ③をゆるめ丁番を上にスライドさせて段差を合わせてください。 調整後、必ず調整ネジ③を締付けて丁番を固定してください。



※　注意　関連機器の点検・整備はその機器の設置説明書に従い、点検・整備してください。

１０　設置後の処理

本商品の設置後、ワークトップに傷やダコンが付く可能性があります。
商品の梱包材を使用して、ワークトップを養生してください。
商品には、取扱説明書が同梱してあります。
注意事項・お手入れ方法などを十分ご説明の上、お施主様又は、工事責任者様にお渡しください。

設置完了後

本表は、設置後に行う点検表です。本表にしたがってチェックしてください。

	チェック
１．商品に傷や割れはないか？	
２．扉間に段差や隙間の不揃いはないか？	
３．配管部に水漏れはないか？	
４．器具の取付けは行ったか？	
５．スイッチは正しく作動するか？	
６．コーキングが必要な箇所にシリコンでシーリングを行ったか？	